

ダイバーシティ担当理事ご挨拶



廣瀬 祐宏理事

(社会連携, コンプライアンス担当)

令和5年度(2023年度)から担当理事になってこれまで、国立大学協会主催の全国会議や、九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムなどで、発表者やパネリストとして、大分大学の取組を紹介する機会が多くありました。あらためて感じたのは、本学は、2010年度に女性研究者サポート室を設置して以降、男女共同参画推進室、ダイバーシティ推進本部へと取組を発展させ、病児保育室の開設や、研究費支援、学会派遣、大学院進学など、他大学と比較しても多くの充実した支援事業を実現してきたということです。松浦室長をはじめ関係された皆様に感謝いたします。特に、2017年度～2022年度は、文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」の採択を受け、地域社会における「知の拠点」として、地域企業と連携した特徴のある取組が高い評価を受けました。こうした取組は、本学の指導的役割にある女性比率の向上等に現れています。さあ、いよいよ、令和7年度からは、「大分大学ダイバーシティ推進行動計画」の第3期が、女性活躍推進法に基づく行動計画の第4期がスタートします。皆で、キャンパスのWELL-BEINGを高めていきましょう！

台湾中山大学公共事務管理学院訪問団が視察のため来訪

2024.11.13(水)

台湾の中山大学の彭滄雯教員を始めとする教員・大学院生約15名が、「国際非営利及びコミュニティ組織の交流(国際非営利及び社会組織交流)」の講義の一環として女性活躍等に関する視察のため、大分大学を訪問し、訪問団の代表が、北野正剛学長へ表敬訪問を行いました。

北野学長が歓迎の挨拶を述べ、台湾での思い出話や名所旧跡、趣味のスポーツ等について語ると、緊張が一気にほぐれ、終始和やかな雰囲気での進みました。

その後、本学のダイバーシティ推進の現在までの取組について、松浦恵子ダイバーシティ推進本部長が講演を行いました。意見交換会では、各校の大学教育・研究及びダイバーシティ推進等の取組状況について活発な意見交換が行われ、有意義な交流の場となりました。



北野学長と記念撮影



訪問団と推進本部メンバー

竹田市男女共同参画推進大会

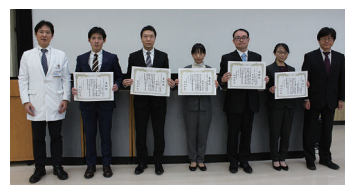
2024.11.19(火)

本学学長特命補佐(ダイバーシティ, 男女共同参画担当)の松浦室長が、2024年度竹田市男女共同参画推進大会で講演を行いました。竹田市は、男女の性別にかかわらず一人一人、その人権が尊重される社会(男女共同参画社会)の実現に向けた取組を行っており、一人ひとりが「男女共同参画」を自分自身の生き方として関わり、正しい理解と意識が持てるように講演会を開催しています。「男女共同参画はなぜ必要か～みんなが生きやすくなるために～」をテーマに講演を行い、会場の竹田市総合文化ホールグランツたけたキナーレには100名の来場者がありました。講演後参加者からは「農村における女性の地位向上、男女共同参画はまだまだほど遠い。農業という職業は女性活躍の可能性が高いにもかかわらず古い慣習がまだ残っている。ここをかえられるように少し頑張りたい。」とのコメントがありました。本室も今後ますます地域におけるダイバーシティ推進に貢献するため活動していきます。



第14回中塚医学賞 女性研究者2名受賞

2024年12月10日(火) に、第14回中塚医学賞表彰式及び受賞者セミナーが行われました。本賞は、大分大学医学部における若手研究者の研究活性化及び進展を図ることを目的として設けられたものです。今回は、女性研究者研究費支援及び英語論文投稿支援事業の利用実績のある、附属病院クオリティマネジメント室病院特任助教 福田 智子先生が生命科学・医学専門分野に、看護学科実践看護学講座助教 阿部 世史美先生が看護学専門分野に選ばれました。



受賞者の皆様

クオリティマネジメント室 病院特任助教 福田 智子先生 受賞コメント

このたびは、大分大学医学部において名誉ある中塚医学賞を受賞させていただき、ありがとうございます。また、女性研究者研究費支援(2022年、2023年)、英語論文投稿支援(2022年)を3度に渡りご支援くださった男女共同参画推進室の支援事業のご協力に心より感謝申し上げます。これらの賞と支援は研究への励みとなるだけでなく、今後も研究の継続を目指す大きな原動力となっています。特に、女性研究者としての立場を支援していただけることは、子育てや夫の仕事への付き添いなどで医師としてのキャリア形成にブランクのあった自分にとって大変ありがたいことでした。これを糧に今後より一層努力してまいります。研究の経験がなかった私に一からご指導くださった高橋尚彦先生と篠原徹二先生(写真 左)、ご支援くださった先生方や同僚の先生、応援してくれる家族にも感謝申し上げます。これからも学びを怠らず、研究活動を続けていきたいです。誠にありがとうございました。



看護学科実践看護学講座 助教 阿部 世史美先生 受賞コメント

この度、中塚医学賞という栄誉ある賞をいただくことができました。賞をいただいた研究は、大分大学大学院医学系研究科修士課程で行った研究です。研究計画から論文文化するまで、丁寧にご指導いただいた先生方、そして、研究に快くご協力いただき、多くのことを教えてくださった研究対象者の方々に感謝いたします。この研究では、疾患や手術により身体機能が変化された方が、自宅、つまりこれまで暮らしてきた環境で、どのように生活を継続されているのか、について探究いたしました。その結果、これまでの生活を継続していくためには、家族に限らない人間関係が重要であること、そして、何よりその人たちを大切にすることが本人の思いや信念、さらに困難に対するしなやかな対応力がカギになることがわかりました。今後も、高齢者ならではの知恵やしなやかさを信じつつ、そうあることに何らかの問題をもつ方への看護についても探究を続けたいと思います。



日本バイオマテリアル学会2024年度九州ブロック研究発表会 大学院生が「優秀ポスター賞」受賞

工学研究科 立山 実結花さん 受賞コメント

私は「春季学会派遣支援」の助成を受けて、2024年6月5日～7日に仙台国際センターで実施された高分子学会年次大会に参加いたしました。全国各地の学生や研究者の発表を聴講し、意見交換をすることで、研究に対する理解が一層深まり、新たな視点を獲得することができました。

私の所属している「檜垣研究室」では、親水性高分子のみで構成される両親水性ブロック共重合体濃厚水溶液の相分離機構と分子集合体機能を研究しています。

この学会でいただいたアドバイスや意見を参考にして、11月23日に実施されたバイオマテリアル学会九州ブロック研究発表会では、ポスターの構成や内容をアップデートすることができました。その結果、ポスター賞を受賞することができ、多少なりとも自身の成長を実感するとともに、次のステップへのモチベーションが高まりました。この経験は、今後の研究活動においても大きな糧となると確信しています。



受賞した立山 実結花さん



立山さんと檜垣先生

旦野原キャンパス 育児懇談会

2024.7.5(金)

旦野原キャンパス 教養教育棟会議室1にて、両立支援事業として、ママ&パパ育児懇談会を開催しました。参加者からの事前質問について、先輩ママとして参加した2名の職員によるお話がありました。参加者は11名(男性職員1名含む)でした。自己紹介終了後、意見交換が行われ、「それぞれの同じような悩みを抱えていることを知り、とても励みになった。」「仕事と育児の両立の工夫が知れた。」「同じような境遇の方とつながりが持てて良かった。」と意見がありました。「もっとたくさんの方と知り合える場があると良い、また開催されれば参加したい。」という声もありました。



オープンキャンパス2024同時開催「女性研究者と語ろう」

2024.8.9(金)、8.10(土)

オープンキャンパス開催時に、「女性研究者と語ろう」を実施しました。旦野原キャンパスでは、女子大学院生が自身の研究や学生生活についてポスターで紹介し、高校生等の質問に答えました。挟間キャンパスでは、部門委員の先生や附属病院で勤務する女性医師たちが、高校生や保護者の方々等と歓談しました。2日間で高校生、保護者、高校教員を含め158名の来場者がありました。「学ぶことや進路など詳しく聞くことができ、よりクリアに大学について知ることができた。大分大学に興味が出た。」という声がありました。



大分大学開放イベント「女性研究者の学会派遣 報告展示」

2024.11.4(月・祝)

大学開放イベント「きらやかな女性研究者—こんな研究しています。学会派遣報告展示」を実施しました。

学会派遣支援を受けた女子大学院生3名、女性研究者6名によるポスター展示を行いました。小学生、中学生、高校生、地域の方々が訪れ、研究等について女性研究者が直接説明し交流を深めました。来場者は171人で「話を聞くことで、どういう考えで研究されているかを知ることができてとても良かった。」「女性研究者の方のお話が聞けて、今後の進路選択の参考になった。」という意見がありました。



医学部女性教授の会

2025.3.5(水)

2024年度の「医学部女性教授の会」を開催しました。この会は、医学部の女性教授により構成され、定期的に意見交換するものです。今年度はグローバル感染症研究センター、看護学科、先進医療科学科、医学科の女性教授9名が集まりました。

はじめに、原田千鶴教授のご退職のお祝いを行いました。原田教授は、現在まで看護学科長等歴任され、教育・研究と共に男女共同参画推進が始まった当初からご指導いただきました。

その後「医学部で女性研究者が活躍するためには」というテーマでトークセッションが続きました。参加者自身の経験等を踏まえ、若手研究者の(学生を含む)興味・研究マインドを醸成するためには、やる気を持続するための場の提供が必要であり、育児・介護等のサポートのための制度設計や社会全体で支えるという意識が必要であるのではないか、女性研究者の環境及びダイバーシティに対する意識については確実に変化しており、心理的安全性を高める職場づくりが必要等の貴重な意見がありました。今後も引き続き、学科、職階の垣根を超えたネットワークを繋げていけたらと思います。



後列左から、三重野先生、加藤先生、脇先生、末弘先生、花田先生
前列左から、三室先生、山本先生、原田先生、松浦先生

ダイバーシティ入門

後学期全学共通科目授業「ダイバーシティ入門」を開講しました。学内教員の他、専門の外部講師を招き、多様な視点からダイバーシティについて学びました。授業の締め括りとして、後半はグループワークを実施しました。12グループに分かれ、2つのテーマを2回に分けて、グループ発表を行いました。

講義の第14回目に行われた「若年層に向けた女性に対する暴力防止に係る広報啓発案の提案（動画の作成及びプレゼン）」は、大分県と連携しアイデアソンとして実施しました。当日は、厳正な審査が行われ、大分県消費生活・男女共同参画プラザ所長より賞状が授与されました。



表彰式の様子



学生の動画及びプレゼンの様子

第15回目に行われた「ダイバーシティに関する課題についてのプレゼンテーション」では、それぞれ3つの課題から1つを担当し、プレゼンテーションを行いました。最終日のグループ発表では、外部講師の方なども審査に加わっていただき、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞の授与がありました。

受講した学生からは、「男性と女性という性別にとらわれない考え方・学びは社会で生きていく上で役立つもの

だと思う。この意識を肝に銘じてダイバーシティに理解のある人間になりたい。」「自分が無意識のうちに意識を抱いてしまっている偏見の存在に気づき、相手を傷つけてしまわないような社会人へ成長したい。」等のコメントがありました。



最優秀賞グループと
講義担当の松浦先生



優秀賞グループと
講義担当の城戸先生



審査員特別賞受賞グループと
推進員の川田先生

出前型のダイバーシティ入門講義

理工学部JST事業

2024.6.18(火)、2025.1.24(金)

理工学部のJST事業“女子中高生の理系進路選択支援プログラム”(2023年～2024年)にて、大下晴美男女共同参画推進室副室長が「未来を創造する～ダイバーシティの視点から～」の講義を行いました。学生交流会館 B-Forêtにて「理工学部オープンキャンパス」、「理工学部体験ツアー」に参加した中学生ら(150名、178名)が受講しました。クイズ形式にて、全員参加のダイバーシティ等クイズを行い、大変盛り上がっていました。



講演する大下副室長



会場の様子

大分県立佐伯鶴城高等学校

2024.10.15(火)

大分県立佐伯鶴城高等学校の1年生保護者集会で、“出前型ダイバーシティ入門講義”を行いました。参加者は生徒173名、保護者・教員129名でした。

今回は、理工学部の富来礼次先生、経済学部の松谷葉子先生、工学研究科の大学院生原汀さん、佐藤月さんが講義を行いました。この他、松浦室長と大下副室長による“Q&A動画”も放映しました。出前講義終了後、希望者による座談会を行いました。



会場の様子



講演する松谷先生

スキルアップセミナー 13名参加

2024.11.1(金) オンライン開催

株式会社アゴス・ジャパンの John Grant氏を講師に迎え、英語プレゼンテーションセミナーをオンラインにて実施しました。参加者は事前課題を提出し、講師からのアドバイスを受けてセミナーに臨み、当日のセミナーでさらに理解を深めていました。教職員等を中心に13名が参加しました。

【受講者アンケートから】

- ・大変有意義でした。
- ・限られた時間で、大切なトピックスを網羅して話してくださいました。教材もわかりやすかったです。最初のパワーポイント作成の添削も非常に親切にしてくださいました。
- ・プレゼンテーションの構成や signposting language 等、具体的な文章で説明をしていただき、すぐに活用できそうだと思います。



セミナーの様子

異業種交流会 17名参加

2025.1.31(金)

J:COM ホルトホール大分2階 サテライトキャンパスおおいた講義室

「女性が活躍できる職場とは？」というテーマで、おおいた連携ダイバーシティ推進会議の協力機関である、株式会社オーイーシー・菅 美保氏と、大分キャンノンマテリアル株式会社・吉岡 真理氏のお二人に話題提供していただきました。グループワークでは、目標達成シート“マンドラチャート”をグループ毎に作成し発表を行いました。業種、年齢、立場など異なる様々な方が参加され自由に意見交換を行いました。

【受講者アンケート】

- ・古い考え方や、働き方をしている自分の職場で何から取り組めばよいのか悩ましいところでもありました。今日のお二人の発表を聞いて、ロールモデルがいなくても、自分になれるという姿勢を見習いたいと思いました。
- ・女性が活躍するために必要なことはみんなそれぞれ持っているが、それを実現するためには経営層への働きかけが必要だと思いました。
- ・異業種の方々だからこそ、女性活躍の為に必要な様々な意見が出てきたのだと思います。その意見を経営層にわかってもらえるようにするための仕組みや取組が今後求められてくるのだらうな…と感じました。



会場の様子

ダイバーシティセミナー 43名参加

2025.2.17(月) オンライン開催

第一部は「これからの大分大学ダイバーシティ推進」という演題で、本学学長特命補佐（ダイバーシティ、男女共同参画担当）松浦室長が、本学策定の行動計画（3年毎に更新、2025年度～）について講演しました。

第二部では、佐賀大学ダイバーシティ推進室副室長 / 専門職 高橋 かおり氏を講師に迎え、「先輩管理職から贈る言葉～自信を持って発揮しよう！あなたのキャリア～」という演題で講演していただきました。高橋氏は、以前本学国際交流課長、教育支援課長として勤務されており、本学在職中には大学院に入学され、見事、修士号を取得されました。ご自身の経験談や、それに基づく力強いアドバイスをいただきました。

【受講者アンケート】

- ・大分大学の取り組みがよくわかりました。
- ・学ぶことは年齢、環境は関係ないんだと改めて感じました。キャリアアップに対する姿勢も、自分自身できない理由を並べているだけだと痛感し、これからどのように自分になりたいのか考える良い機会となりました。
- ・高橋 かおり氏のバイタリティー溢れるご講演は、とても素晴らしく、次代を担う方たちにきっと通じたと思います。

ダイバーシティセミナー

日時：2025年2月17日(月) 13:00～14:30
開催方法：ハイブリット(対面・オンライン) 予定
※高橋氏は オンライン (Zoom) 参加
対面会場：大分大学教育学部第一会議室
参加対象：大分大学教職員・学生
共同実施機関(おおいた連携ダイバーシティ推進会議)

第1部：
「これからの大分大学ダイバーシティ推進」
大分大学学長特命補佐(ダイバーシティ、男女共同参画担当) 松浦恵子

第2部：
「先輩管理職から贈る言葉
～自信を持って発揮しよう！あなたのキャリア～」
佐賀大学ダイバーシティ推進室副室長/専門職 高橋かおり氏

高橋氏は、1974(昭和49)年、大分県大分市生まれ。大分大学国際交流課長、大分大学教育学部教育支援課長として勤務。2019.4より佐賀大学ダイバーシティ推進室副室長(佐賀大学の女性専任)に就任。2021.4より現職。本学在職中には、大分大学大学院経済学研究科博士前期課程に入学し、2023.3に博士(経営学)を修了。修士号取得後、現在に至ります。
今回は博士論文の研究経験をもとに、ご自身の経験談やそれに基づく力強いアドバイスをいただきます。是非、皆様ご参加ください。

申込方法：
1月31日(金)までに、QRコードまたはWEBフォームからお申込みください。
<https://forms.gle/QWNaUbsUJnBucRY8>

主催：おおいた連携ダイバーシティ推進会議

英語論文投稿支援 8名採択

募集期間：2024.6.3(月)～2025.1.30(木)

女性研究者の研究力向上を図るため、国際的学術誌への論文投稿を促進するために必要な、ネイティブ校正費または論文投稿費について8万円を上限に補助する事業です。2024年度は8名の女性研究者へ支援を行いました。

第6回 おおいた女性人財育成プログラム 12名参加

2024.7.29(月)
J:COM ホルトホール大分2階
サテライトキャンパスおおいた講義室

第6回目となる「おおいた女性人財育成プログラム」を開催しました。今回のテーマは「現在の自分を見つめ直し、将来のキャリアをイメージしよう」でした。大下副室長は①現在の自分を分析する②理想とするキャリアビジョンを描く③①と②のギャップを明らかにする④目標とそれを達成する手段を考える、という4つのステップが必要だと話し、グループワークで意見交換を行いました。

【受講者アンケートから】

- ・女性だけの異業種交流は初めてだったので、大変楽しかったです。得意な業務、苦手な業務は漠然と考えていましたが、好きだけど苦手な業務、好きではないけど得意な業務を考えたことは無かったので新たな視点でした。
- ・グループワークが主であったので、主体的に参加しながら自分の今の考えを整理して書いたり話したりすることができました。また、いろんな職業や人柄の女性と出会うことは良い刺激になりました。



大分県主催事業「女性が輝くおおいたづくり推進事業」(産学官連携)

おおいた連携ダイバーシティ推進会議が後援を行ない、本学教員及び共同実施・協力機関の企業の方が講演を行いました。

「次世代の女性リーダー育成研修 -Next Stage-」(J:COMホルトホール大分2階 サテライトキャンパスおおいた講義室)

【ヘルスマネジメントコース】

日付	講義名	講師
9月11日	働く女性の「プチ意識改革」	松浦 恵子教授 (医)
9月30日	働く女性のメンタルヘルス	河野 伸子教授 (福)
10月23日	女性のヘルスケア	岡本 真実子助教 (医)

【キャリアマネジメントコース】

日付	講義名	講師
9月11日	ポジティブになれるコミュニケーション術	大下 晴美准教授 (医)
9月30日	心が折れない職場作り	飯田 法子准教授 (福)
10月23日	仕事術としての「セルフマネジメント」	松谷 葉子准教授 (経)

【ビジネスマネジメントコース】

日付	講義名	講師
9月18日	企業の創造と変革	渡邊 博子教授 (経)
10月9日	組織と戦略	
11月1日	市場とマーケティング	

【ピープルマネジメントコース】

日付	講義名	講師
9月18日	思考力の質を高める工夫	松野 満良氏 (合)カタリスタ 代表執行役員社長
10月9日	対話の溝を埋める極意	
11月1日	影響の幅を広げる知恵	



ヘルスマネジメントコースの様子



キャリアマネジメントコースの様子



ビジネスマネジメントコースの様子



「経営者向け／女性活躍推進セミナー」

日付	場 所	内 容
1月16日	【中津会場】 (中津商工会議所大ホール)	・基調講演「女性活躍推進とダイバーシティの現状」 松浦 恵子教授 (医) / 渡邊 博子教授 (経) ・事例報告「県内企業による取り組み事例紹介」 三和酒類(株) 泉 かおり氏 大分キャンノンマテリアル(株) 桑畑 隆二氏・倉橋 雅美氏 ・人材開発専門家による講演 (合)カタリスタ代表執行役員社長 松野 満良氏
1月22日	【別府会場】 (別府商工会議所大ホール)	
2月4日	【佐伯会場】 (さいき城山桜ホール小ホール)	

